

事業番号	事務事業名	社会教育学級開設費	所管課名	生涯学習課	令和 3 年度課長名	黒瀬 豊
05950	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名	生涯学習係	担当者・シート作成者	ソーター・クリストフ
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	中央公民館主催講座の運営 ・実施計画作成 ・講師依頼 ・募集要項、チラシ作成 ・申込み受け ・受講決定書送付 ・受講料調定 講師謝金支払・修了証書授与	平成5年度に実施された初級ワープロ講座が初めての主催講座。現在もパソコン講座として継続されている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 町内住民	ア 町内人口	人	見込	12,285	12,143	11,970	11,800	11,627
			実績	12,754	12,625	12,497		
イ	イ		見込					
			実績					
ウ	ウ		見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 生涯学習活動の実施	ア 主催講座の数	講座	目標	15	15	15	15	15
			実績	14	7	15		
			達成率	93.3%	46.7%	100.0%		100.0%
イ	イ 主催講座の参加者数	人	目標	800	800	500	300	300
			実績	351	73	283		
			達成率	43.9%	9.1%	56.6%		94.3%
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 広報・募集	ア 広報回数	回	目標	3	3	3	3	3
			実績	3	5	3		
			達成率	100.0%	166.7%	100.0%		100.0%
イ 講師打合せ	イ 打合せ回数	回	目標	15	15	15	15	15
			実績	15	15	15		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計		01 款		10 項		06 目		01 大事業		01 中事業		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育総務費		06		01		社会教育学級開設費					
予算(千円)	1 年度実績	2 年度実績	3 年度実績	4 年度見込	5 年度見込	前年比	決算(千円)	1 年度実績	2 年度実績	3 年度実績	4 年度見込	5 年度見込	前年比					
国庫支出金							国庫支出金											
県支出金							県支出金											
町債							町債											
その他特財	2,247	657	960	1,043	1,043	303	その他特財	698	294	282	1,043	1,043	-12					
一般財源	866	416	140	1,398	1,398	-276	一般財源	1,480	511	583	1,398	1,398	72					
合計	3,113	1,073	1,100	2,441	2,441	27	合計(A)	2,178	805	865	2,441	2,441	60					
財源名称	生涯学習推進基金繰入金						従事正職員人数	2	2	2	2	2						
	社会教育学級受講料						延べ業務事務時間	150	150	150	150	150						
							人件費計(千円)(B)	525	501	503	513	513	1					
	最終予算額		1,100 千円		予算執行率	78.6%		トータルコスト(A+B)	2,703	1,306	1,368	2,954	2,954	61				
主な支出事業内容(予算)	報償費				584 千円				主な支出事業内容(決算)	報償費				218 千円				
	消耗品費				267 千円					消耗品費				65 千円				
	印刷製本費				180 千円					印刷製本費				46 千円				
	委託費(講師派遣等)				1,232 千円					委託費(講師派遣等)				344 千円				
	使用料及び賃借料 使用料及び賃借料				74 千円					使用料及び賃借料 使用料及び賃借料				0 千円				

事業番号	05950	事務事業名	社会教育学級開設費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	-----------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
青年層の活動が少ない。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
30年度より、新規事業として「子どもに夢プロジェクト」を開始。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
高清水トレイル講座を開設し、大成功だったので、回数を増やし継続する。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 青年層向けの講座を開設したが、参加者はまだ少ない。小学生・高齢者が多い。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 子どもや若い人達には生涯学習を始めるきっかけになり、高齢者には、同じ趣味や学習のコミュニティづくりになるため、公共関与の妥当性がある。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 すべての世代の町民が生涯学習に参加するきっかけとして公民館講座を実施するものであり、対象・意図共に妥当である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 青年層を対象とした講座、学習ニーズに応じた講座の開設が必要である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 休止した場合、住民の社会教育へ参加する機会や生涯学習活動の機会が失われる。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 他の部署と連携して講座を開設すれば、受講者層の間口を広げることができる。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 3年以上経過した主催講座で、受講生の確保できるものについては、講師謝金を受講生が負担し、自主運営する自主講座に転換するよう推奨している。ただし、公民館使用料は無料。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 一人で担当している業務が複数あり、現状以上の業務時間短縮は不可能。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 幅広い年齢層を対象として講座を実施している。また、講座案内・申込書を広報紙に折り込み、全世帯に配布しており、機会均等で公平である。受講料も徴収している。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	新型コロナウイルス感染症拡大の割には、講座の開催ができた。 青年層の参加が少ない。 住民の学習ニーズの把握が必要。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 働き盛りの世代の参加者が少なく、ニーズを把握し、講座開設に生かしていかなければならない。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
住民の学習ニーズを把握し、特に青年層向けの広報の見直しが必要。																									